

③ 行政応急対応分科会

分科会のキャッチフレーズ・スローガン

つながる力が、災害対応を強くする

私たちが目指す社会

行政・地域・学校・企業・関係機関が平時からつながり、災害時には人的・物的資源・情報等を共有し、誰一人取り残さない地域社会の構築

＼ 日頃から感じている課題 ／
行政内部の縦割り、行政と関係機関の連携不足、情報共有不足

私たちの提言

1 災害から誰ひとり取り残さないために

- 行政だけで、災害対応はできません。受援体制を整えるためには、
平時から災害に関わる多様な機関と顔の見える関係を築きましょう。

2 助けになる技術や経験、制度、ツール、キーアイテム

- 行政と各機関が横断的に情報を共有できるシステムを活用し、
組織を超えた情報共有を実現しましょう。

3 次世代を担う若者へのメッセージ

- 防災は特別な人だけが担うものではありません。
若いみなさんの新しい発想や行動力によって、地域の防災力を大きく
前進させましょう。



TEAM防災ジャパン
お世話係
いなべ市役所
大月 浩靖氏

行政だけでは、
誰一人取り残さない災害対応はできません。だからこそ、
平時からつながり、顔の見える関係をつくる。
立場や組織を越えて、知恵を出し合い、力を持ち寄る。
その一つひとつのつながりが、
災害時の「助ける力」になります。
防災は、特別な誰かが担うものではありません。
私たち一人ひとりが、今日からできることを始める。
「つながる力が、災害対応を強くする。」
この言葉を、次の行動につなげていきましょう。



TEAM防災ジャパン
お世話係
宇部市役所
弘中 秀治氏

参加団体 ※順不同

(大) 大分大学／(一社) 日本スパイダー協会／東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター／
中部資材(株)／防災ママかきつばた／(一財) エルビーガス振興センター／太平洋工業(株)／地域安全学
会・大規模災害時の遺体対応研究小委員会／(株) プラスヴォイス／(株) INSPIRATION PLUS／鳥取中部
ふるさと広域連合消防局／ぎふ防災・減災センター「げんさい未来塾」／(株) Tech-Tech／危機管理・運営
局DMAT事務局／日本DMAT／(一社) 日本カーシェアリング協会